

【白河市】
平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

市民の皆様へ

白河市教育委員会

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果及び考察についてお知らせします。

この調査は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

調査対象は小学6年生と中学3年生で、「教科に関する調査」と学習意欲や学習環境などを調査する「質問紙調査」を実施しました。教科に関する調査では、小学校は国語と算数の2教科を実施しました。また、中学校は国語と数学に、今年度は英語を加え、3教科を実施しました。なお、昨年度までは、「国語A」、「算数（数学）A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数（数学）B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

教育委員会では、市内小中学校の調査結果と考察を公表することにより、学校、保護者、地域と一体となって学力向上や学習環境の改善に取り組んでいきますので、御理解と御協力をお願いします。

〈小学6年生の平均正答率〉

（単位％）

	国語	算数
白 河 市	6 6	6 6
福 島 県	6 4	6 5
全 国	6 3 . 8	6 6 . 6

【考察】

「総括」

- 小学校の調査結果については、国語は全国平均を上回り、算数についてはおおむね全国平均と同じでした。

「国語」

- 全ての領域で、正答率が全国平均を上回りました。特に、「読むこと」領域の「目的に応じて、必要な情報を得るために、本や文章全体を概観し、選んで読むこと」は高い正答率でした。これは、各学校が、「読むこと」の指導に力を入れている成果です。授業や休み時間などにおいて、図書室での読書や調べ学習の機会を多く設定し、さらに読む力を育てていきます。
- 「書くこと」領域の目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題は、全国平均を上回る結果ではありましたが、正答率は、問題の中で最も低かったことから、今後、授業の中で、理由をはっきりさせて自分の考えを書く場面を設け、さらに書く力を向上させていきます。

「算数」

- 「数量関係」領域の正答率は、ほぼ全国平均と同じでした。棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る問題や加法と乗法が交じった整数と小数の計算問題の正答率は、全国平均を上回る結果でした。各学校が一人一人の児童に「わかった・できた」を実感させる授業を目指し、取り組んでいる成果です。今後は、計算など基本的な学習だけでなく、普段の生活に関連した様々な問題の解決を図る機会を、授業の中で多く取り入れる工夫をしていきます。
- 「数と計算」領域の数学的な考え方を問う問題は、全国平均を上回る結果ではありましたが、正答率は、問題の中で最も低く、無解答率は、問題の中で最も高いという結果で、「記述式」の問題の正答率が低い傾向にありました。今後、授業の中で、式の意味を考えたり、導き出した結論に至った根拠を説明したりするなど、自らが表現・処理する場、またそれを振り返る場を設定していきます。

〈中学3年生の平均正答率〉

(単位%)

	国語	数学	英語
白河市	74	58	54
福島県	72	57	53
全国	72.8	59.8	56.0

【考察】

「総括」

- 中学校の調査結果については、国語は全国平均を上回り、数学、英語については全国平均を下回りました。

「国語」

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」それぞれの領域の正答率が、全国平均を上回りました。特に、「読むこと」の「短歌を読んで解釈し、それに対する自分の感じたことや考えたことを文章で表す」問題は高い正答率でした。文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書いている生徒が多いことが分かりました。日頃の授業で、根拠を明確にして自分の感じたことや考えたことを書く活動を実践してきた成果です。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「封筒の書き方を理解して書く」問題は、正答率が問題の中で最も低く、全国平均を下回りました。これは、封筒の宛名や住所を正しく、楷書で書いている生徒が少なかったことによるものでした。無解答率も、他の問題に比べ高い割合でした。学習したことを他教科の学習や日頃の生活に役立てられるように指導していきます。

「数学」

- 「数と式」領域の正答率は、おおむね全国平均と同じでした。特に、連立二元一次方程式を解く問題や前の問題で使った考え方を、似ている別の場面に当てはめられるかを考える問題において、全国平均を上回りました。今後は、基礎的・基本的な事項を知識・技能として身につける学習だけでなく、それらを活用した授業を実践し、更なる定着に努めていきます。
- 「記述式」の問題は、正答率が低く無解答率が高いという結果でした。特に、問題解決の方法を数学的に説明する問題に課題が見られました。授業において、問題解決の過程で、その方法について筋道立ててノートにかいたり説明したりする活動とともに、一人一人のつまずきを見取り、誤答を生かすなどの学習活動をより多く取り入れていきます。

「英語」

- 「聞くこと」「読むこと」領域の正答率は、おおむね全国平均と同じでした。話されている内容を聞き取ったり、書かれている内容を読み取ったりすることは、おおむねできていました。各学校で、導入やまとめを工夫したり、言語活動を取り入れたり、毎時間の積み重ねの成果が少しずつ現れてきています。
- 「英語による音声メッセージを聞いて、それに対するアドバイスを英語で書く」問題や「英文を読んで、それに対する自分の考えを英語で書く」問題のような複数の技能をあわせた技能統合の問題は、正答率が低く無解答率が高いという結果でした。今後、授業の中で、聞いたり、読んだりしたことを基に、理由を述べながら意見や考えを話したり、書いたりするなどの技能統合型の言語活動を取り入れていきます。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

市民の皆様へ

白河市教育委員会

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について、質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせします。

お知らせする結果は、児童生徒の家庭学習の取組や読書の様子など、家庭での生活状況に関する調査結果に関してであり、それを公表することで、学校と家庭や地域との連携を図っていきたいと考えております。

この結果をもとに、教育委員会は、改善に向けた取組を学校とともに行っていきますが、考察では、保護者や地域の方々をお願いしたい内容もありますので、御協力をよろしくお願いします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

(単位 %)

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小	白河市	40.0	37.5	18.6	3.7
	福島県	38.5	39.4	17.8	4.2
6	全 国	33.1	38.4	23.0	5.5
中	白河市	18.4	43.3	31.1	7.2
	福島県	14.2	38.2	38.0	9.6
3	全 国	14.9	35.5	37.3	12.2

【考 察】

- 「している」「どちらかといえればしている」の割合が、小学校は昨年度よりも上回り、中学校は昨年度とほぼ同じでした。各学校で、児童生徒が計画に沿って主体的に学習できるよう、工夫のある取組を実践し、それが、児童生徒の学習意欲につながっていることがわかります。
- 今後はさらに、自分の目標や学習計画に従い、得意なところを伸ばしたり、不得意なところの補充を行ったりできるよう、家庭学習の内容の充実を図っていきます。

2 授業以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

(単位 %)

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	白河市	6.8	19.5	48.0	20.1	3.9	1.2
	福島県	6.0	17.3	52.1	19.4	3.9	1.3
6	全 国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
中	白河市	10.7	30.9	41.5	12.2	3.4	1.3
	福島県	6.7	25.9	41.0	18.3	6.2	1.9
3	全 国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4

【考 察】

- 小学校では「3時間以上」の割合は昨年度より減少していますが、「2時間以上」は増加しています。中学校では「3時間以上」「2時間以上」の割合が昨年度より増加しています。小学校では、1時間以上学習している割合は7割以上で、中学校では、2時間以上学習している割合は4割以上となっており、各学校で家庭学習の習慣化を図る取組を行っている成果が現れています。
- 小・中学校とも、家庭における学習の習慣化が図られてきていますが、中には「全く学習しない」「30分未満」の児童生徒もおります。授業と家庭学習を関連付けるなど、意欲的に学習に取り組むことができるよう、個別に関わり指導してまいります。ご家庭でもコミュニケーションを大切にし、声をかけたり、励ましたりしていただくよう御協力をお願いします。

3 授業以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

(単位 %)

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	白河市	6.1	11.3	24.6	26.8	17.4	13.5
	福島県	6.3	11.4	23.5	29.8	14.5	14.4
6	全 国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7
中	白河市	6.1	8.9	20.6	29.3	12.0	23.1
	福島県	4.7	8.8	16.2	25.6	14.2	30.4
3	全 国	4.8	7.6	14.6	23.4	14.8	34.8

【考 察】

- 小学校では「1時間以上」読書をする児童が昨年度より増えています。「全くしない」の割合は昨年度より減少し、改善の傾向が見られます。各学校で、図書室が

整備され、読書の楽しさやよさを味わっている児童が増えたためと考えられます。

- 中学校においては、「10分未満」「全くしない」の割合が全国に比べて低い結果でしたが、昨年の結果に比べて、まだ改善が図られていないので、学校司書と連携し、朝の読書以外にも、生徒が興味をもって読書できるような働きかけをしていきます。